

令和4年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

第1章 みんなで未来につなぐまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
社会動態増減数	社会減 121人 <small>(過去5年間平均)</small>	社会減 114人	社会減 474人	社会増 171人			社会減 5人 <small>(計画期間内平均)</small>
坂井市へのU・Iターン数	Uターン 35人 Iターン 16人 <small>(平成30年度)</small>	Uターン 26人 Iターン 38人	Uターン 30人 Iターン 28人	Uターン 22人 Iターン 76人			Uターン 70人 Iターン 30人 <small>(令和6年度)</small>

<基本計画および方針>

1-1 誰もが暮らしやすい共生社会の推進				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【誰もが生き生きと暮らせる社会づくりの推進】 ②【あらゆる分野での男女共同参画とダイバーシティ（多様性の尊重）の推進】				A：0/7件	B：7/7件	A：0/7件	B：7/7件
				C：0/7件	D：0/7件	C：0/7件	D：0/7件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
「イクボス宣言企業」事業所数	58企業 <small>(平成30年度)</small>	64企業	65企業	65企業			80企業 <small>(令和6年度末)</small>
「イクボス宣言企業」男性の育休取得事業所数	—	—	10企業	5企業			15企業 <small>(計画期間内)</small>
女性活躍推進講座等参加人数	20人 <small>(令和元年度)</small>	34人	66人	53人			200人 <small>(計画期間内)</small>

<基本計画および方針>

1-2 多様な主体と連携した協働のまちづくりの推進				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【地域の特性を活かした協働のまちづくりの推進】 ②【広報広聴など市民との対話の充実】				A：5/11件	B：5/11件	A：7/12件	B：4/12件
				C：1/11件	D：0/11件	C：1/12件	D：0/12件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
まちづくりカレッジ修了者数	23人 <small>(平成30年度)</small>	19人	16人	42人			60人 <small>(計画期間内)</small>

<基本計画および方針>

1-3 国際・都市間交流の推進				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【国際交流を通じたグローバル人材の育成と多文化共生意識の醸成】 ②【都市間交流を通じた地域の活性化とシビックプライドの醸成】				A：5/6件	B：0/6件	A：4/6件	B：1/6件
				C：1/6件	D：0/6件	C：1/6件	D：0/6件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
地域ブランド調査 魅力度順位 (ブランド総合研究所)	872位 <small>(平成30年度)</small>	929位	878位	—			500位以内 <small>(令和6年度)</small>

<基本計画および方針>

1-4 関係人口の拡大と住みよさの実感				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【次世代の担い手育成と関係人口の拡大】 ②【魅力ある地域づくりの推進】 ③【住みよさを高める環境の整備】 ④【坂井市に住みたくなる魅力を全国に発信】				A: 8/19件	B: 8/19件	A: 10/16件	B: 5/16件
				C: 3/19件	D: 0/19件	C: 1/16件	D: 0/16件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
高校生アンケート 坂井市への定住希望率	28.5% (平成30年度)	36.0%	28.7%	28.3%			35% (令和6年度)
Tキャンプ参加者数	134人 (平成30年度) (過去3年累計)	54人	54人	57人			300人 (計画期間内)
三国湊・丸岡城下町における空き 家リノベーション件数	9件 (平成30年度) (過去7年累計)	2件	2件	1件			10件 (計画期間内)
結婚へのきっかけ創出の事業実施 数	33件 (平成30年度) (過去8年累計)	2件	3件	5件			25件 (計画期間内)
子育て世帯(15歳未満の子がいる 世帯)の転入数	190世帯 (平成30年度)	174世帯	163世帯	178世帯			200世帯 (令和6年度)
地域ブランド調査 居住意欲度順位 (ブランド総合順位)	843位 (平成30年度)	966位	918位	-			500位以内 (令和6年度)

<基本計画および方針>

1-5 効率的な行財政運営の推進				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【効率的な組織体制・人員配置の構築】 ②【安定した財源確保と持続可能な財政運営】 ③【公共施設の適正なマネジメント】				A: 9/18件	B: 9/18件	A: 9/18件	B: 9/18件
				C: 0/18件	D: 0/18件	C: 0/18件	D: 0/18件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
RPAにより、事務作業が自動化さ れた数	1件 (平成30年度)	1件	4件	10件			10件 (計画期間内)

<市自己評価(事業毎の効果と総括)>

	令和3年度	令和4年度	
A.効果あり	27/61件	30/59件	基本構想対象の事業59件のうち、効果ありの事業は30件で、半数超が共生・協働の社会に向け寄与しております。単年ではありますが坂井市へのUターン的人数および社会動態ともに増加となっています。共生社会の実現の一つに、職場や地域社会における女性参画の拡大は重要であります。そのためには男性の育児休暇取得の推進や、男性の家事への参加など企業や男性の意識を変えていく必要があります。また協働のまちづくりの推進では、まちづくりカレッジにおいて、課題解決型の人材育成を進めることで、高校生やまちづくり協議会関係者の参加が大幅に増加しました。自立した持続可能な地域づくりのために継続した取り組みが必要だと考えます。
B.将来的な効果あり	29/61件	26/59件	
C.小さい効果あり	5/61件	3/59件	
D.未着手	0/61件	0/59件	

<外部有識者評価>

1.効果あり	Uターン合計数の伸びについて、その要因について追跡調査するなどし、今後の効果的な移住施策をすすめることが重要であると思われます。まちづくりカレッジについては修了者数の増だけでなく、地域での活動を展開しており、協働の社会の推進が期待されます。小学生へのSDGsの理解が進みつつあり、家庭への広まりも期待できるところであり、さらに企業向けの取り組みについても検討を進めていくことが大事だと思われます。共生社会の推進にあたり、女性の社会進出の促進が必要であり、働く女性の意識の変化と男性の家事育児への当事者意識の向上とともに、企業の女性人材育成の機運醸成も必要になってくると思われます。
2.将来的な効果あり	
3.小さい効果あり	



令和4年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

第2章 互いに思いやり支え合うまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
出生数	684人 <small>(過去5年間平均)</small>	537人	605人	518人			720人 <small>(計画期間内平均)</small>
健康寿命	男性 79.70歳 女性 84.03歳 <small>(平成30年度)</small>	男性 79.99歳 女性 84.64歳	男性 80.07歳 女性 84.71歳	男性 80.22歳 女性 85.10歳			男性 81歳 女性 85歳 <small>(令和6年度)</small>

<基本計画および方針>

2-1 地域福祉の充実				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【安心して暮らせる地域共生社会づくりの推進】 ②【地域主体で取り組む地域福祉推進体制の充実】 ③【多機関の協働による包括的支援体制の構築】				A: 3/6件	B: 3/6件	A: 4/8件	B: 4/8件
				C: 0/6件	D: 0/6件	C: 0/8件	D: 0/8件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
地域力強化推進事業実施地区	累計1地区 <small>(平成30年度)</small>	0地区	8地区	7地区			累計20地区 <small>(計画期間内)</small>

<基本計画および方針>

2-2 児童福祉の充実				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【幼児教育及び保育環境の充実】 ②【安心できる子育て支援の充実】 ③【子育て相談及び支援体制の充実】				A: 42/45件	B: 2/45件	A: 41/45件	B: 2/45件
				C: 1/45件	D: 0/45件	C: 2/45件	D: 0/45件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
保育園待機児童ゼロの維持	待機児童ゼロ <small>(平成30年度)</small>	待機児童ゼロ	待機児童ゼロ	待機児童ゼロ			待機児童ゼロ <small>(令和6年度)</small>
放課後児童クラブ待機児童ゼロの維持	待機児童ゼロ <small>(平成30年度)</small>	待機児童ゼロ	待機児童ゼロ	待機児童ゼロ			待機児童ゼロ <small>(令和6年度)</small>
子育て支援アプリ利用率 (登録されている0~5歳児の割合)	—	11.9%	23.2%	32.1%			50% <small>(令和6年度末)</small>

<基本計画および方針>

2-3 高齢者福祉の充実				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【身近で取り組みやすい介護予防の充実】 ②【多様な主体との連携による包括的支援体制の充実】 ③【高齢者の居場所づくりと社会参加の推進】				A: 14/27件	B: 13/27件	A: 13/27件	B: 14/27件
				C: 0/27件	D: 0/27件	C: 0/27件	D: 0/27件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
通いの場実施地区	18地区 <small>(平成30年度)</small>	29地区	15地区	36地区			30地区 <small>(令和6年度)</small>
認知症サポーター養成講座受講人数	5,421人 <small>(平成30年度時点)</small>	6,667人	6,731人	7,287人			10,000人 <small>(令和6年度末)</small>

<基本計画および方針>

2-4 障がい者福祉の充実				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【障がいに対する理解促進と社会的障壁の解消】 ②【障がいのある人が安心して暮らせる地域環境の整備】 ③【障がいのある人の就労の促進と社会参加への支援】				A：2/4件	B：1/4件	A：2/4件	B：1/4件
				C：1/4件	D：0/4件	C：1/4件	D：0/4件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
障がい者理解のための研修や啓発活動の実施件数	年間2件 (平成30年度)	年間3件	年間2件	年間3件			年間5件 (令和6年度)
地域生活支援拠点の数	0箇所 (平成30年度)	1箇所	1箇所	1箇所			累計1箇所 (令和6年度)
一般就労した障がい者の人数	年間14人 (平成30年度)	年間25人	年間18人	年間29人			年間15人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

2-5 健康づくりの推進				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【市民の主体的な健康づくりの推進】 ②【生活習慣病の予防対策の推進】 ③【母子の健康管理体制の充実】 ④【感染症予防の総合的な推進】 ⑤【地域連携による食育の推進】				A：16/16件	B：0/16件	A：16/16件	B：0/16件
				C：0/16件	D：0/16件	C：0/16件	D：0/16件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
健康アプリ継続利用数	1,825人 (令和2年度)	1,825人	2,241人	2,306人			2,400人 (令和6年度)
赤ちゃん訪問実施率	91.9% (平成30年度時点)	87.4%	94.9%	95.0%			95% (令和6年度)
不妊治療費助成事業利用件数	110件 (平成30年度)	123件	126件	107件			150件 (令和6年度)

<基本計画および方針>

2-6 地域医療の充実				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【地域医療と救急体制の充実】 ②【市立三国病院における医療体制の充実】				A：3/3件	B：0/3件	A：3/3件	B：0/3件
				C：0/3件	D：0/3件	C：0/3件	D：0/3件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
新改革プランの目標値の達成（病床利用率）	61.2% (平成30年度)	76.4%	74.5%	66.2%			70% (令和6年度)

<基本計画および方針>

2-7 社会保障制度の適正運営				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【国民健康保険の安定的な運営】 ②【後期高齢者医療の安定的な運営】 ③【介護保険事業の充実】 ④【国民年金制度の周知啓発】 ⑤【生活保護制度の適正な運用】 ⑥【生活困窮者自立支援制度の実施体制の充実】				A：6/6件	B：0/6件	A：6/6件	B：0/6件
				C：0/6件	D：0/6件	C：0/6件	D：0/6件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
生活困窮者自立支援新規相談件数	202件 (平成30年度)	364件	377件	308件			200件 (令和6年度)

<市自己評価（事業毎の効果と総括）>

	令和3年度	令和4年度	
A.効果あり	86/107件	85/109件	基本構想対象の事業109件のうち、効果ありの事業は85件で住民福祉の向上が進められていると考えます。出生数は減少傾向ではありますが、保育園・児童クラブの待機児童ゼロを継続していくことに合わせて、放課後児童クラブでは巡回アドバイザーの訪問など質の向上を図るなど、安心して子どもを育てられる体制づくりに努めています。健康寿命は微増の傾向になっています。高齢者福祉については、介護予防活動や地域の見守りのための「通いの場」をコロナ禍で休止していた地区の再開への支援や新規実施地区を増やすことができ、高齢者の社会参画も進められています。障害福祉に関しては、就労を促進することで、障がい者の精神面向上や生活の質の向上にあわせ、企業に対する障がいの理解促進という面においても効果が期待でき、継続して進めていくことが重要であると考えます。
B.将来的な効果あり	19/107件	21/109件	
C.小さい効果あり	2/107件	3/109件	
D.未着手	0/107件	0/109件	

<外部有識者評価>

1.効果あり	児童福祉の充実を図るため、大小さまざまな取り組みが行われており、その中でも保育現場において、担い手不足が問題となっている中で、市による支援が人材確保につながっていることは有意義であると考えます。しかしながら、時間帯によっては保育士の人数確保に苦慮していることもあるため、今後も支援の強化が望まれます。また障がい者や高齢者等において、実際の被災時において誰がどのように支援を行えるかについては、重要であり、個別避難計画の作成とあわせ、地域での避難訓練も行っていくことも必要であると思われれます。
2.将来的な効果あり	
3.小さい効果あり	



令和4年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

第3章 学ぶ意欲を支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンター 年間利用者数	430,930人 (平成30年度)	224,555人	275,001人	319,788人			450,000人 (令和6年度)
市立図書館年間来館者数	461,682人 (平成30年度)	211,542人	342,963人	341,146人			480,000人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

3-1 学校教育の充実				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【教育内容の充実】 ②【個に応じた学習支援の充実】 ③【就学指導体制・教育相談体制の充実】 ④【安全な教育環境の整備】 ⑤【安全で安心な学校給食の充実】				A: 16/19件	B: 3/19件	A: 18/19件	B: 1/19件
				C: 0/19件	D: 0/19件	C: 0/19件	D: 0/19件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
大規模改造工事実施小学校数	毎年2校 (平成30年度)	2校	2校	3校			毎年2校 (令和6年度)
意識調査で「学校は楽しい」にあてはまると回答する児童生徒の割合	66.0% (令和2年度)	66.0%	64.1%	63.2%			70.0% (令和6年度末)

<基本計画および方針>

3-2 社会教育・生涯教育の充実				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【社会教育と地域づくりの活動の一体的な推進】 ②【コミュニティセンターを拠点とした集い・学び・結ぶ環境づくり】 ③【地域で育て・見守り・支える青少年の育成】 ④【図書館機能の充実】				A: 11/14件	B: 2/14件	A: 11/14件	B: 2/14件
				C: 1/14件	D: 0/14件	C: 1/14件	D: 0/14件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
コミュニティセンターで開催された講座数	332講座 (平成30年度)	288講座	290講座	365講座			350講座 (令和6年度)
コミュニティセンターで開催された講座の参加者数	24,262人 (平成30年度)	11,217人	12,235人	14,276人			26,000人 (令和6年度)
市立図書館貸出冊数	860,183冊 (平成30年度)	622,630冊	817,456冊	749,522冊			880,000冊 (令和6年度)

<基本計画および方針>

3-3 歴史・文化・芸術の伝承と振興				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【文化財の保存と活用】 ②【文化芸術活動の振興】				A: 6/13件	B: 7/13件	A: 9/13件	B: 4/13件
				C: 0/13件	D: 0/13件	C: 0/13件	D: 0/13件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
丸岡城入場者数	128,158人 (平成30年度)	69,616人	65,394人	108,875人			150,000人 (令和6年度)
みくに龍翔館来館者数 (館外活動参加者等を含む)	11,166人 (平成30年度)	5,516人	—	—			30,000人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

3-4 生涯スポーツの振興				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【スポーツ・レクリエーションの振興推進】 ②【トップアスリートの育成】 ③【体育施設の効率的な管理運営】 ④【スポーツツーリズムの促進】				A: 6/7件	B: 0/7件	A: 7/7件	B: 0/7件
				C: 1/7件	D: 0/7件	C: 0/7件	D: 0/7件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
坂井市民スポーツ祭等参加者延べ人数	9,397人 (平成30年度)	1,166人	497人	4,257人			11,500人 (令和6年度)
スポーツ推進委員主幹教室・大会参加者数	93人 (平成30年度)	0人	76人	0人			150人 (令和6年度)

<市自己評価（事業毎の効果と総括）>

	令和3年度	令和4年度	
A.効果あり	39/53件	45/53件	基本構想対象の事業53件のうち、効果ありの事業は45件で、概ね学ぶ意欲を支えるまちづくりに寄与していると考えます。基本構想の数値目標については市立図書館年間来館者数はほぼ横ばいではありますが、コミュニティセンター年間利用者はコロナウイルスの影響からの復調の兆しがあります。小中学校では、ICTを活用した学習支援だけでなく、児童生徒にとって通うのが楽しい場所となるよう、児童生徒が抱える様々な問題に対応できるよう関係機関と連携を取りながら就学指導体制・教育相談体制を支援していく必要があります。文化財関係では、令和5年度リニューアルオープンの坂井市龍翔博物館の展示製作やライトアップ等の改修が行われました。博物館機能強化とともに、観光をはじめとした他分野との連携の取組が重要となってくると考えます。
B.将来的な効果あり	12/53件	7/53件	
C.小さい効果あり	2/53件	1/53件	
D.未着手	0/53件	0/53件	

<外部有識者評価>

1.効果あり	教育分野において、コミュニティセンターの年間利用者数が戻ってきており、コロナ禍の影響が少なくなっていると思われる。図書館の来館者数や本の貸出数については微減となっているが、少子化やデジタル化が進む中で、数値的な向上を目指すだけでなく、利用者の一人ひとりの満足度をあげていくことで教育の充実につながると思われます。学校教育について、デジタル化が進められている中で、習熟度別学習を行うなど、個別最適化された学びができるなど良い点が見られています。きめ細やかな指導体制の中で、子どもたちが学びに対し、楽しみをもてるよう適切な事業の推進が重要と考えます。
2.将来的な効果あり	
3.小さい効果あり	



令和4年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

第4章 自然と共生できるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
クリーンキャンペーン参加者数	9,526人 (過去5年間平均)	—	5,580人	7,728人			10,000人 (計画期間内平均)

<基本計画および方針>

4-1 自然環境の保全と共生				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【豊かな自然と共生する社会づくりの推進】 ②【環境について自ら考え行動できる人づくりの推進】 ③【地球温暖化対策の推進】				A: 3/5件	B: 0/5件	A: 3/5件	B: 2/5件
				C: 2/5件	D: 0/5件	C: 0/5件	D: 0/5件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
環境講座開催数	7回 (平成30年度)	0回	5回	8回			8回 (令和6年度)

<基本計画および方針>

4-2 循環型社会の構築				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【ごみの減量化及び再資源化の推進】 ②【不適正処理の防止】				A: 2/2件	B: 0/2件	A: 2/2件	B: 0/2件
				C: 0/2件	D: 0/2件	C: 0/2件	D: 0/2件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
1人1日あたりのごみ排出量	875g (平成30年度)	844g	825g	827g			808g (令和6年度末)

<基本計画および方針>

4-3 生活環境の保全と充実				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【公害防止対策の推進】 ②【良好な生活環境の維持・保全】				A: 0/2件	B: 2/2件	A: 0/2件	B: 2/2件
				C: 0/2件	D: 0/2件	C: 0/2件	D: 0/2件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
条例等で定められた規制値の超過企業数	4件 (平成30年度)	3件	8件	2件			0件 (令和6年度末)

<基本計画および方針>

4-4 美しい景観資源の活用				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【ふるさとを感じられる景観の継承】 ②【未来につながる美しい景観の創造】				A: 1/3件	B: 2/3件	A: 1/3件	B: 2/3件
				C: 0/3件	D: 0/3件	C: 0/3件	D: 0/3件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
景観まちづくり事業補助事業活用件数	3件 (平成30年度)	4件	3件	1件			11件 (令和6年度)

<市自己評価（事業毎の効果と総括）>

	令和3年度	令和4年度	
A.効果あり	6/12件	6/12件	基本構想対象の事業12件のうち、効果ありの事業は6件で、半数の事業で将来の坂井市の持続可能な環境への取り組みが図られていると考えます。クリーンキャンペーンのほか、九頭竜川河口部清掃活動、河川クリーンキャンペーンは市、地域、ボランティア団体等それぞれが主体となって実施する環境美化活動として根付きつつありますが、コロナ禍前の人数には戻っておらず、自主性を重んじながらも積極的な参加への呼びかけが求められます。また環境意識の醸成には、環境教育は重要であり、小学生を対象に寄附市民参画制度を活用したストップ地球温暖化対策授業やエコ広場の開催、親子リサイクル施設見学会など環境に関心をもって行動していく人づくりについて継続して進める必要があります。
B.将来的な効果あり	4/12件	6/12件	
C.小さい効果あり	2/12件	0/12件	
D.未着手	0/12件	0/12件	

<外部有識者評価>

1.効果あり	1人1日あたりのごみ排出量は減少傾向にあり、コロナによる生活スタイルの影響も一因となっているとも考えられます。今後、事業系一般廃棄物について増が考えられる中で、引き続き市民・企業の環境意識の醸成への取組を進める必要があると思われます。環境に関する取り組みは、活動の広がりやその効果が表れることに時間を要するため、地球温暖化対策授業のような環境教育とあわせ、地道な継続が必要と思われます。
2.将来的な効果あり	
3.小さい効果あり	



令和4年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

第5章 地域資源を活かし活力に満ちたまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
製造品出荷額等	2,878億円 (平成30年度)	3,038億円	2,972億円	3,420億円			3,100億円 (令和6年度)
観光客入込客数	523万人 (平成30年度)	336万人	292万人	376万人			600万人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

5-1 農林水産業の振興				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【持続可能な農林水産業の推進】				A: 66/73件	B: 4/73件	A: 67/73件	B: 6/73件
②【農地・森林の環境の保持】							
③【安全・安心な地場産物の消費拡大と付加価値向上】							
④【農林水産物を活用した観光・交流の推進による地域振興】				C: 2/73件	D: 1/73件	C: 0/73件	D: 0/73件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
新規就農者数	4人 (平成30年度)	0人	1人	3人			25人 (計画期間内)
認定農業者数	214経営体 (うち法人42) (平成30年度)	206経営体 (うち法人49)	206経営体 (うち法人49)	215経営体 (うち法人53)			300経営体 (うち法人50) (令和6年度末)
漁業生産量（底引き網漁業、沿岸漁業の合計）	532トン (平成24 ～28年度平均)	400トン	384トン	367トン			535トン (令和6年度)
底びき網漁船隻数	10隻 (平成30年度)	9隻	9隻	9隻			10隻 (令和6年度)
沿岸漁業者数	122人 (平成30年度)	123人	104人	104人			122人 (令和6年度)
坂井地区木材出荷量（材積）	14,500m ³ /年 (令和元年度)	—	25,693m ³ /年	22,790m ³ /年			18,500m ³ /年 (令和6年度)
農家レストラン・農産物直売所の来客数	108,918人 (平成30年度)	101,837人	92,235人	134,450人			156,000人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

5-2 商工業の振興				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【商業経営の安定化と魅力ある地元商店街の形成】				A: 4/7件	B: 2/7件	A: 4/7件	B: 1/7件
②【地域に根差す産業の支援の充実】							
③【企業誘致の推進、新規産業の創出支援】				C: 1/7件	D: 0/7件	C: 1/7件	D: 1/7件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
空き店舗の活用による開業支援件数	1件 (平成30年度)	0件	1件	3件			15件 (計画期間内)
生産性・サービス向上講座の開催回数（異業種連携）	19回 (平成30年度現在)	16回	15回	9回			20回 (計画期間内)
企業誘致件数	3件 (平成30年度)	5件	7件	2件			15件 (計画期間内)

<基本計画および方針>

5-3 観光の振興				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【観光資源・地域資源の魅力向上と多様な観光ニーズへの対応】 ②【広域交通網の活用推進】 ③【インバウンドの受け入れ体制の整備】 ④【観光情報の整理と効果的な発信】 ⑤【観光地域づくりのための組織形成と人材育成】				A: 17/28件	B: 7/28件	A: 22/25件	B: 0/25件
				C: 4/28件	D: 0/28件	C: 3/25件	D: 0/25件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
国内宿泊客数	186,707人 (平成29年度)	151,693人	159,566人	209,728人			200,000人 (令和6年度)
外国人宿泊客数	4,987人 (平成30年度)	543人	117人	332人			20,000人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

5-4 働く環境の充実				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【雇用・就労機会の確保と労働環境の充実】 ②【多様な人材の確保や柔軟な働き方の実現】				A: 5/8件	B: 3/8件	A: 5/8件	B: 3/8件
				C: 0/8件	D: 0/8件	C: 0/8件	D: 0/8件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
インターンシップ受け入れ企業数	12社 (平成30年度)	0社	8社	5社			15社 (令和6年度)
坂井市シルバー人材センター登録者数	1,095人 (平成30年度)	1,046人	995人	984人			1,350人 (令和6年度)
給与収入者数 (60歳以上)	11,474人 (平成30年度)	12,109人	12,273人	13,579人			12,500人 (令和6年度)

<市自己評価 (事業毎の効果と総括)>

	令和3年度	令和4年度	
A.効果あり	92/116件	98/113件	基本構想対象の事業113件のうち、効果ありの事業は98件で、農林水産業、商工業および観光業の振興に概ね寄与していると考えます。持続可能な農林水産業の推進のため、経営の安定および所得向上に繋がる補助事業等を行っていますが、新規就農者の確保や沿岸漁業者数の維持において厳しい状況であると受けとめております。地域の商業経営については、人口減少や電子商取引の進歩など地域経済の構造についても変化しており、それに対応できるよう中小事業者の経営安定化が図れる支援を行っていく必要があります。観光については、令和5年度末に控えている新幹線の敦賀延伸を見据え、東尋坊再整備や丸岡城周辺整備といったハード事業にあわせて、観光地の周遊や滞在時間が伸ばせるソフト事業の取組や新たな二次交通ルートの増便等を進めていくことが重要と考えます。
B.将来的な効果あり	16/116件	10/113件	
C.小さい効果あり	7/116件	4/113件	
D.未着手	1/116件	1/113件	

<外部有識者評価>

1.効果あり	新規就農については、目標値までには大きな差があるものの、高齢化が進む中で園芸カレッジや市の支援が有効的に働いていると思われます。漁業について、漁業者の販路拡大等の支援等のほか、漁業資源の増加を図る施策などの継続により、持続的な水産業を行うことが重要であると思われます。畜産分野においても、後継者問題があり、集約化や個人事業主の法人化に対する支援の検討を進める必要があると思われます。商工の分野においても人材確保は課題であり、大学生対象のインターシップのみならず、高校生に対するアプローチも必要と思われます。観光の振興について、コロナの影響を大きく受けている外国人宿泊客数については、より積極的な取組が必要になると思われます。
2.将来的な効果あり	
3.小さい効果あり	



令和4年度事業分 第二次坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略政策評価シート（総括表）

<基本構想>

第6章 安全で快適な暮らしを支えるまちづくり							
数値目標	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
人口集中地区の人口密度	3,934人/㎢ (平成27年度)	3,934人/㎢ (平成27年度)	3474人/㎢ (令和2年度)	3474人/㎢ (令和2年度)			4,000人/㎢ (令和6年度)

<市自己評価（事業毎の効果と総括）>

6-1 災害に強いまちづくりの推進				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【治山・治水対策による災害の未然防止】 ②【総合的かつ計画的な防災・減災対策の推進】 ③【災害に強い市民の育成と防災機能の強化】 ④【地域コミュニティによる安全・安心の構築】 ⑤【国民保護対策の充実】				A：4/16件	B：11/16件	A：4/18件	B：13/18件
				C：1/16件	D：0/16件	C：1/18件	D：0/18件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
自主防災組織結成地区数	281地区 (平成30年度)	291地区	292地区	297地区			440地区 (令和6年度)
坂井市防災訓練参加人数	18,197人 (平成30年度)	430人	481人	12,991人			25,000人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

6-2 安全・安心対策の充実				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【防犯対策の充実】 ②【消費者の自立支援と被害の未然・拡大の防止】 ③【交通事故による被害が少ない環境の創出】				A：4/7件	B：3/7件	A：4/7件	B：3/7件
				C：0/7件	D：0/7件	C：0/7件	D：0/7件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
交通事故死者数	3件 (平成30年度)	3件	3件	1件			0件 (令和6年度)
さかいドライブレコーダー見守り協力隊（ドラレコ隊）加入件数	800件 (平成30年度)	1,000件	1,029件	1,052件			1,800件 (令和6年度)

<基本計画および方針>

6-3 住環境の整備				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【適正な土地利用の推進】 ②【快適な居住環境の創出】 ③【誰もが安心して利用できる公園・緑地の整備】				A：4/8件	B：4/8件	A：6/8件	B：1/8件
				C：0/8件	D：0/8件	C：1/8件	D：0/8件
重要業績評価指標（KPI）	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
空き家バンク登録数	68件 (平成30年度)	32件	26件	45件			90件 (計画期間内)
坂井市空き家情報バンクに登録されている空き家の活用件数	5件 (平成30年度)	16件	18件	25件			30件 (計画期間内)

<基本計画および方針>

6-4 安定した水の供給と良好な水環境の維持				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【安全・安心な水の安定した供給】 ②【下水道施設の整備・管理と接続促進】 ③【上下水道事業の経営健全化】				A : 8/8件	B : 0/8件	A : 8/8件	B : 0/8件
				C : 0/8件	D : 0/8件	C : 0/8件	D : 0/8件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
上水道管の耐震化率	48% (平成30年度)	48.5%	48.6%	48.8%			60% (令和6年度)
下水道の水洗化率	92% (平成30年度)	93.2%	93.7%	93.9%			95% (令和6年度)

<基本計画および方針>

6-5 暮らしを支える道路網の整備				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【広域的な道路網の整備】 ②【生活道路の計画的な整備】 ③【地域ぐるみによる除雪体制の強化】				A : 8/8件	B : 0/8件	A : 8/8件	B : 0/8件
				C : 0/8件	D : 0/8件	C : 0/8件	D : 0/8件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
橋梁修繕数	2件 (過去5年累計)	27件	0件	12件			42件 (計画期間内)
橋梁点検数	615件 (過去5年累計)	43件	224件	184件			615件 (計画期間内)

<基本計画および方針>

6-6 地域公共交通と広域ネットワークの充実				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【地域公共交通の充実と利用促進】 ②【広域交通ネットワーク拠点の充実】				A : 5/11件	B : 5/11件	A : 6/12件	B : 5/12件
				C : 1/11件	D : 0/11件	C : 1/12件	D : 0/12件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
えちぜん鉄道乗客数 (1日平均9駅合計)	1,219人 (平成30年度)	888人	985人	1,090人			1,300人 (計画期間内)
コミュニティバス利用者数	90,118人 (平成30年度)	62,250人	61,412人	58,801人			91,000人 (令和6年度)

<基本計画および方針>

6-7 情報ネットワーク社会の構築				事業毎の効果 (令和3年度)		事業毎の効果 (令和4年度)	
①【ICTによる行政サービスの向上と効率的な行政運営】 ②【ICTを活用した利便性の高い生活環境の実現】				A : 5/5件	B : 0/5件	A : 5/5件	B : 0/5件
				C : 0/5件	D : 0/5件	C : 0/5件	D : 0/5件
重要業績評価指標 (KPI)	現状値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標値
福井県電子申請サービスを利用した手続の件数	20件 (平成30年度)	29件	56件	53件			50件 (令和6年度)

<市自己評価（事業毎の効果と総括）>

	令和3年度	令和4年度	
A.効果あり	38/63件	41/66件	基本構想対象の事業66件のうち、効果ありの事業は41件で、将来に効果が期待できる事業が22件であり継続的な事業も含め、安全で快適な暮らしを支えるまちづくりに各種事業が繋がっていると考えます。自主防災組織数は伸びており、災害に対する意識の醸成は着実に図られていますが、目標値には開きがあります。防災訓練による防災意識の向上や防災敷材の整備支援等、継続的な取り組みが重要であると考えます。空き家バンク登録の空き家活用件数は25件と伸びてはいますが、今後も空き家の増加が見込まれています。空き家活用の改修とあわせ、老朽化した危険な空き家の除却に対しても支援することで、住みやすい環境につなげていく必要があります。地域公共交通について、日常生活に必要な近距離移動を支えるため、イータク（オンデマンド型交通）が始まったところでありますが、地域鉄道や路線バスと連動した利用を促すなかで、公共交通網全体としての発展を目指していくことが大切と考えます。
B.将来的な効果あり	23/63件	22/66件	
C.小さい効果あり	2/63件	3/66件	
D.未着手	0/63件	0/66件	

<外部有識者評価>

1.効果あり	地域公共交通において、地元利用者はコロナ禍前に戻りつつあるが、観光方面ではまだ本来に戻ってはいない状況であります。その中で、交通事業においても、運転手など担い手不足が深刻化している状況であります。公共交通を持続可能にしていくためには経済的な支援だけでなく、交通形態や制度・あり方などについて県を含め取り組んでいく必要があります。災害に強いまちづくりでは、自主防災組織の設立、防災訓練参加者の増等、全体としての意識が高くなっているよう思われます。また中高生等学生に対する防災意識の醸成についての取組についても推進が必要であると思われます。
2.将来的な効果あり	
3.小さい効果あり	

